

にゅとぴあ 岸和田

岸和田市国際親善協会だより

ifa-きしわだ

総会開催

平成31年 4/27(土)

No.120



ご挨拶

会長 井上 實

今年度から新しく会長を仰せつかった井上 實です。協会への変わらぬご理解とご支援を心から願います。

さて、昨年度は協会創立30周年を迎えるに当たり、記念誌の発刊、日本語サロン生による日本語スピーチ大会、サロンなどとの出会いの場「地球どっぷり」伊賀上野忍者村・交流バスツアー、岸和田市のアメリカの姉妹都市サウスサンフランシスコ市への会員の交流訪問など様々な事業を成功裏に終えることが出来ました。会員の皆さんと喜びを共有できた実感した次第です。

私が協会と関わりを持ち始めたのは創立まもない1992年(平成4年)で、岸和田市がちょうど市制施行70周年を迎えようとしている時期でした。

平成の30年間に協会の役割と活動内容は、社会の動静とともに随分と変容し深まりつつ広がりを見せて今、令和の時代を迎えました。大きくは、国際親善から国際交流・国際貢献・協力へと、今後も新たな波が打ちよせて来るものと思います。入国管理法の改正により在留外国人やその家族が私たちの地域に確実に増加し働き、生活し、教育を受けます。

そんな中、地域での外国籍住民の総合的な相談体制・窓口の設置や子どもの教育の在り方が検討されつつあります。このような大きな流れに私たち民間団体がどのように関わり、活動していくのかが問われています。

岸和田市が策定した国際化ガイドプランにいう《地球市民の集う都市・きしわだ》を基本理念とした多文化共生社会の推進に取り組んでまいりたいと思います。

総会・経過報告

今年度の事業指針を決定する総会が、4月27日(土) 浪切ホール4F交流ホールで開催されました。

【第一部】桐原会長挨拶及び永野市長等ご来賓祝辞に引き続き、《事務局》、《広報部会》、《事業部会》、《日本語サロン部会》の各部会より、2018年度事業報告、並びに2018年度決算・監査報告がありました。又、一部会則の改正も原案通り承認されました。今年度は役員改選の年にあたり、総会で2019～2020年度の役員が満場一致で選出されました。(新役員名簿は3頁参照)その後、新年度の各部会長、副部会長、事務局長、事務局員の指名があり、引き続き2019年度の事業計画案・予算案について承認されました。

【第二部】大正琴演奏会。13名の演奏者は86歳を筆頭に殆んどが後期高齢者です。大正琴の魅力はなんと言っても、日本人の琴線にふれるその独特な哀愁のある音色です。日本の叙情的な童謡、民謡、演歌、歌謡曲、洋楽など幅広いジャンルの美しいメロディにマッチします。手軽に始められる趣味として大正琴はシニア層に人気が高いです。弦を弾くため右手と左手の操作のタイミングや指先を使うことにより脳も刺激するため老化防止に役立つとも言われています。今回も「六段の調べ」、「コンドルは飛んで行く」、「学園広場」等々で、聴衆を魅了し、最後は全員合唱「故郷」で締めくくりました。(広報部会)



無料配布中

岸和田市国際親善協会が作成した防災ハンドブック。無料で協会事務局にて配布しています。ご希望の方は協会事務局
TEL. 072-457-9694
までお問い合わせ下さい。

「にゅとぴあ 岸和田」は世界の人のびと、団体、都市との出会いを求め、ふれあいを大切にしたい親善・交流を通してお互いの連帯を深め、世界の平和と繁栄、人びとの幸福の増進のための貢献を目的とした、岸和田市国際親善協会の活動記録とメッセージの発行物です。



Since 1989

ifa-きしわだ
岸和田市国際親善協会



当協会黎明の時期から協会を支えて下さったお二方が、4月27日をもって退任されました。長きにわたり、協会を見守り続けたお二人からお言葉を頂きました。

退任にあたって

～国際交流・草創期から円熟期までの30年～

前会長 桐原 喜彦

振り返ってみれば会長在任5期10年なんて早いものでアッという間でした。

昨年の「伊賀忍者村バスツアー」からの帰途、車中で「桐原さん、協会と関わってきて特に思い出に残っていることって何？」とある方から聞かれました。「さあ～ねえ。と言ったものの、さて何なんだろう？」と自問し答えないまま岸和田へ到着。

今あらためて「何だろな？」と過去に思いを巡らすと草創時のあの顔、この顔、既に鬼籍に入られた方、その後の30年間に会った多くの方々が目に浮かび全てが懐かしい。私はこの協会と関わることが本当に良かったと心から嬉しく思っています。

さて、その思い出の一番は「アメリカ・サウスサンフランシスコ市への訪問」かな？国境を越えた人の温かさ、に沢山触れたことが嬉しく姉妹都市間の民間交流の成果の大きさを実感しました。草創期の手作りイベント「はじめまして！こんにちは」も前夜の台風襲来と重なり気をもみましたが外国人ゲストも大勢の参加でこれも忘れられない思い出の交流会でした。

最近の10年間だけをみても国際交流環境は大きく変

化し、岸和田市でも外国人生活者が年々増え続けています。当然これらの人たちの生活に関わる諸問題が発生し各方面からの依頼で協会のボランティアが手助けするケースが大変多くなっ

ています。英語圏以外のスペイン語、中国語等の需要も多くなってきました。外国人生活者の福祉・医療・保健教育・生活等多岐にわたる問題を協会のボランティアの熱意にこのまま頼っていていいものか？とさえ思います。技能実習生等の「日本語サロン」での日本語学習も活発です。国は外国人労働者の雇用拡大を目指しています。これから先、外国人が身近な人としてさらに私たちの周りに起居するでしょう。各般にわたる市の早目の積極対応に期待すると共に協会もさらにその一翼を担わなければならないと考えます。

在任中は一方ならぬご支援を頂き有難うございました。深く感謝申し上げます。



～楽しかった30年～

前事務局長 米川 典子

1989年（平成）市長と共に職場に来られた秘書が「お父さん（夫）にお世話になっています」と差し出された名刺には桐原喜彦、黒いジャケットを羽織った姿が恰好よかった。その後、協会の広報誌を発行したいと請われ広報部へ。「にゅ～とびあ」の発刊にこぎつけたのが1989年10月創立3カ月後でした。30年前は手書き原稿の清書からだった作業は楽しかった。料理の取材には、職場のキッチンを使いタイ領事館の女性職員に取材を行ったこともあった。1990年、広報部長がだんじり祭りに訪れる外国人をサポートできないかと「外国人のためのだんじりインフォメーションセンター」を開設。駅前のパチンコ屋のテラス、次年度は喫茶店の2階と取り組むが集客に無理があった。その後、商店街事務所、浪切ホールのお祭り広場を経て現シルバー人材センターに落ち着いた。協会の事務局は、秘書課、企画課と移ったが運営はすべて職員が担っていた。1996年、水田会長から事業部会を創設したいからと部会長を乞われ担当することに。2011年、担当課が文化国際課へ移って間もなく運営は協会に移り自主的な運営がスタートした。事業も外国語クラブ、English Open Café、異文化理解講座、外国にルーツをもつ家族を支援する Mixed

Roots、地球どんぶりなど会員の発案に沿った事業が育っている。地球どんぶりは在住外国人に何ができるかをテーマにワークショップを開き誕生した。当初は予算が無く書道、ゲーム、ダンスなど外国人も加わり運営した。その後、岸和田東ロータリークラブさんから助成金をいただけることになり念願のバスツアーが実施できた。東大寺・平城宮跡ツアーはバス2台で実施された。その後も高野山、伏見稲荷大社、伊賀上野忍者村と受益者負担をあわせ継続している。30年間で一番の思い出は、20周年記念事業をトークタウンの舞台付広場で万国旗のはためく下、サクソフーン六重奏で幕が上がり買物中のお客さんが詰めかけバリ舞踊、チャング（韓国の太鼓）などで市民と共に祝ったことです。一番うれしかったことは団体活動室という位置づけではあるが、2011年協会の拠点が持てたことです。



事務局 新スタッフ紹介



事務局長

西村 令子

この度、長年協会に多大な貢献をされました前事務局長が退任され、後任として大役を仰せつかり身の引き締まる思いでいます。まだまだ微力ですが当協会発展に向けより一層尽力致しますので、今後ともご支援ご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

願いますと平成 15 年に当協会に入会して、ホームステイ・ホームビジット受入や日本語指導者養成講座 7 期を受講し日本語サロンのボランティア等を通して、いろいろな国の方とふれあい貴重な経験をさせていただいています。事務局には、平成 17 年 3 月より 14 年間の勤務になりますが、当初は行政主導で文化会館の事務所の中に机 1 つだけ置いて週 2 日事務をしていました。数か月後、米川さんが週 1 日で都合 3 日間となり、協会の組織も変更に徐々に自立して行きました。平成 23 年 2 月、現在の団体活動室に事務所を置き週 5 日開業し、同年 5 月より土曜日を藤平さんが担当。令和の幕開けとともに事務局も新しい体制で、火・金曜が西村（令子）、水・第 2 第 4 土曜が西村（紀子）、木・第 1 第 3 土曜が藤平で、担当させていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。



会計

藤平 敬子

平成 18 年の日本語ボランティア養成講座受講をきっかけに当協会に入会し、修了後は箕土路と金曜日職員会館サロン（現在の福祉センターサロン）で日本語ボランティアを始め、昨年の総会席上日本語ボランティア 10 年表彰をいただきました。また平成 23 年 5 月から事務局の土曜日スタッフとして勤務して早 8 年になります。土曜日の英語クラブや English Open Café に越しの皆様の中には、お会いした方もいらっしゃると思います。

現在事業部に所属し、昨年度は地球どんぶり「防災体験&お花見ツアー」、地球村親子クッキング、盆踊りなど協会主催事業の運営にも携わっています。ほかにも KIMONO クラブ、Mixed Roots、小中学校での日本語指導補助員や中国語ボランティア通訳など当協会が行っているさまざまな活動に楽しく参加させていただいています。

今年度からは西村令子さんの後任として会計に就任しました。事務局スタッフとしては木曜日と第一第三土曜日に勤務いたします。引き続き会員の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



理事

西村 紀子

前職は、大宮青少年会館で事務として仕事をしていましたので、地域のいろいろな「いきいきふれあい活動」や「生涯学習としての各種クラブ活動」の発信基地として、子どもからお年寄りまで、多くの地域の方々と交流する機会を持つことができました。これは私にとりまして貴重な経験となりました。一番下の子どももやっと就職が決まり、子育てが一段落したことで老け込んでしまわず、今までの経験を活かしながら新たにグローバルな時代について行けるように、頭を活性化し続けられるように頑張ればと考えます。当協会の大きな使命は増大していく外国人との交流の場を持つ発信基地ですので、直接的、間接的に外国人と接する機会が増えていくでしょう。また同時に広報部会にも所属することになりましたので、あらためて語学力の大切さを痛感しています。学生時代は一応語学を学びましたが、初心に帰ってゼロから学習を始めたいと思います。そして少しでも国際交流活動のために貢献できますよう努力する所存です。いろいろと至らないことや、ご迷惑をおかけするかと存じますが、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

岸和田市国際親善協会

(2019年度～20年度)役員

役 職 名	氏 名
会 長	井上 實（兼事業部会長）
副 会 長	塩屋 裕（兼広報部会長）
	東田 和代
事務局長	西村 令子
会 計	藤平 敬子
理 事	井手 勲
	内田 満弥（広報部副会長）
	緒方 理世（日本語サロン副会長）
	大塚 洋
	柿花 稲美（事業部副会長）
	栗尾 宣子
	佐竹 和義
	澤田 直子
	渋谷 幸子
	杉原 美鈴
	樽谷 弘子
	辻ノ 賢美
	中村 恵子
	西村 紀子
	服部 圭子
	平瀬 有里
	松本 光雄（日本語サロン部会長）
	三森 すみ代
	村木 靖子
	米川 典子
	岸和田市医師会
	岸和田市歯科医師会
	岸和田市薬剤師会
	岸和田市体育協会
	岸和田市町会連合会
	岸和田市日本大韓民国親善協会
	岸和田市日本中国友好協会
	岸和田市文化協会
	岸和田市立産業高等学校
	岸和田市立小学校校長会
	岸和田市立中学校校長会
	岸和田商工会議所
	岸和田青年会議所
	岸和田文化事業協会
	岸和田中央ライオンズクラブ
	岸和田ロータリークラブ
	国際ソロプチミスト岸和田
	トーヨートラベル株式会社
	ヒップファミリークラブ
顧 問	永野 耕平 岸和田市長
	京西 且哲 岸和田市議会議長
	信貴 信千代 元会長
	桐原 喜彦 前会長
監 事	榎本 陸也
	中塚 鞠子

異文化理解講座

ゲスト講師は大阪大学大学院人間科学研究科助教 小笠原理恵さんと当協会副会長兼広報部会長 塩屋裕さんです。日

曜日にもかかわらず会場は満席で、一般市民、会員の他にも医師、看護学校先生、薬剤師など医療関係者や市広報関係者もご出席されました。日頃あまり接することのないテーマでしたが、映像を交えた講演はとても興味深く、わかり易く、終了後も多くの質問が寄せられ、大変有意義な異文化理解講座でした。（事業部会）

5/12
(日)



異文化理解講座 1 日本の常識、世界の非常識！？ ～多文化社会における医療を考えよう～

小笠原 理恵 さん

米国で看護学を学んだ後、中国上海市の外資系クリニックで世界各国から集まった医療従事者とともに医療サービスの提供に従事。2011 年から大阪大学大学院人間科学研究科博士課程に在籍し、言語や文化の異なる人びとの保健医療に関する研究に取り組む。博士（人間科学）。専門は国際保健、多文化共生、医療社会学。海外の医療現場での実践経験をもとに日本と海外の違いについて話しながら、日本の医療を振り返りました。

海外に渡航・在留する日本人の数は飛躍的に増えています。それに伴って、海外で体調を崩し医療受診を余儀なくされる事態も増えています。その際に留意すべきは、①ことばの問題、②医療保険、③専門医④メンタルヘルス、⑤重症度が高い傷病、そして、⑥「あたりまえ」の違いなどです（スライド 1）。私たちが普段「あたりまえ」と思っていることは、一歩外に出ると、案外ズレていたりすることがよくあります。それを医療で考えてみましょう。

季節性インフルエンザの事例です。患者さんは成人の日本人女性。発熱や咳、悪寒などの症状で来院し、通訳を介してアメリカ人医師の診察を受けました。医師は問診・触診・聴診の結果から、「ウィルス性上気道感染症」と診断し対症療法で様子を見るように指示しました。患者さんはインフルエンザの検査と抗インフルエンザ薬の処方を希望したのですが、医師はそれを笑顔で「必要ない」と拒否しました。ここに大きな「あたりまえ」のズレがあります。日本のインフルエンザ治療の基本は「早期発見、早期治療」。疑わしきを含めた全症例に対して、

抗インフルエンザ薬を投与することで、重症化や深刻な合併症を防ぐことを最大の目的としています。しかしこの方針、実は日本特有のものなのです。

世界のほとんどの国や地域では、抗インフルエンザ薬が処方されることはほとんどありません。インフルエンザは通常健康体の患者さんの場合、自身の免疫力を使った対症療法で十分完治が見込めるものであり、かつ、抗インフルエンザ薬はとても高価な薬だからです。日本人は学校や仕事を休むことに深い罪悪感を覚えますが、このアメリカ人医師に言わせると、体調が悪くても学校や仕事に行かないといけないという状況は Crazy の一言。あなたならどうしますか？

次に、結核対策の「あたりまえ」のズレを取り上げます。上海でインターナショナル・スクールに入学を希望した日本人の女の子のお話です。結核に感染していないことを証明するためにツベルクリン反応テスト（ツ反）を受けたところ、結果は陽性。日本では幼少時に BCG 予防接種を一律接種されるので、それがツ反の陽性反応を引き起こしたことは大いに考えられます。しかし、（先の事例とは別の）アメリカ人医師から、結核感染者に義務付けられている投薬なしには入学に必要な書類を作成できない、と言われました。アメリカでは小児予防接種で BCG 接種は行われません。そのため通常ツ反テストの陽性者は結核感染者として取り扱われ、アグレッシブに治療が施されます。一方日本では、乳幼児に対する予防接種はあるものの、その後はアメリカほどアグレッシブではありません。どちらが良いのでしょうか？一つの参考として、各国の結核罹患率比較を提示します（表 1）。日本（特に大阪）の罹患率が他の先進国に比べてとても高く、アメリカは極めて低いことが分かります。

以上のように、「あたりまえ」の違いはその国や地域の公衆衛生に深くかかわってくる場合があります。では、日本で暮らす外国人に置き換えて考えてみましょう。日本の行政官として、医療者として、支援者として、どのように外国人患者さんに向き合うのが良いのか、多面的に考えることが必要になってくると思いませんか？（事業部会）



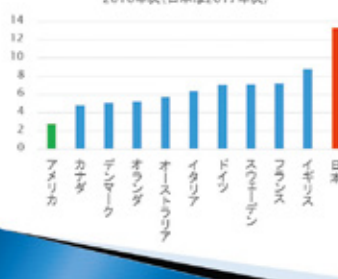
海外で医療を受ける時の問題点

- 医療保険の問題
 - 海外旅行保険が適用されない場合がある → "All or Nothing"
 - 使い慣れない医療保険、保険を持っていない場合
- 専門医
- メンタルヘルス
 - 「通訳を介して済む問題ではない」
 - 海外という環境そのものが原因
 - 偏見
- 重症度が高い場合
 - 入院、手術、輸血、告知
- 言葉の問題、通訳の質
- 文化の違い、「あたりまえ」の違い

●スライド1

結核罹患率比較

厚生労働省 平成29年10月1日現在 結核罹患率（10万人対）
人口10万人対 結核罹患率
2016年次（日本は2017年次）



罹患率(高)

都道府県	罹患率
大阪	21.3
長崎	16.8
東京	16.1
兵庫	15.9
徳島	15.9

*大阪市は32.4

罹患率(低)

都道府県	罹患率
宮城	7.2
福島	7.3
山形	7.4
秋田	8.0
長野	8.1

●表1



シリーズ 私と外国語 第3回

国際交流の中で不可欠なのは外国語です。しかし、日本語は他の外国語と比べて、文字も文法も全く違う言語です。これが私たち日本人にとって外国語を学ぶ上で大きなハンディキャップとなっています。また古来から海に囲まれ外国文化に接する機会が少なかったことから、無意識のうちに外国語にコンプレックスを持つようになり、苦手意識を持つのは当然です。

このような背景のなかで、皆さんはどのようにして外国語に接し学習しているのか、苦労話や感じていることを自由に投稿していただきましょう。

Let's learn foreign language.

《国際交流とは外国語の勉強だけではない》

大阪に大勢の外国人が来日したのは、たぶん 1970 年の大阪万国博覧会が最初ではなかったかと思います。「世界の国からこんにちは」が合い言葉でした。外国からのお客様に粗相のないよう、街の美化や公衆施設（トイレなど）の改修が行われました。エチケット講習やもちろん英会話も学校の授業で取り入れられた記憶があります。電車や街の中で外国人と一緒にいることがまだまだ珍しい時代でした。外国語で会話できる人は特殊技能の持ち主で、ましてや日本の能や歌舞伎などの伝統芸能について外国語で説明できるのは超人技でした。前年のアポロ 11 号の同時通訳の西山千さんなどは神様の領域でした。

あれからほぼ 50 年。外国語に接する機会は洋画、テレビの副音声、CNN テレビ、インターネットと限りなく増え、海外勤務や留学、国際結婚の機会も増えた事も相まって外国語ができる日本人の数は圧倒的に多くなりました。最近のイン

バウンドによる外国人の訪日、2020 年の東京オリンピック・パラリンピック、2025 年の大阪万博の開催と今後ますます外国からのお客様と接する機会は増えるばかりです。小学校からの英語授業も開始され、日本人の会話力も上達することでしょう。

元号が「令和」となりましたが、外国の方から「What is REIWA?」と尋ねられたら、どう説明すればよいのでしょうか。外国語どころか日本語でさえ日本の和歌集の「万葉集」を説明できないのです。私達日本人が、自分の国である日本の文化・芸術・伝統行事・歴史についていかに説明できないことか。国際交流とは外国語の勉強だけではないことをあらためて痛感しています。（内田満弥）



異文化理解講座 2

《外国人患者 in 岸和田》

塩屋 裕さん



現在は外国人サポートの一環として、英語とスペイン語の医療通訳として活動されていますが、元々は医療とは全く関係のない経歴です。大阪外国語大学・スペイン語（現大阪大学外国語学部）出身で職歴は鉄鋼メーカーで石油・天然ガス輸送パイプラインの輸出業務畑を主として歩んできました。海外出張時深夜急病を患ったが、医師との意思の疎通をはかれず不安な一夜を過ごし、将来機会があれば在住外国人の医療サポートをしようと志したそうです。退職後、外国人患者受入れではトップレベルの医療機関で 3 年間 OJT/ 職域訓練を経験しながら、独学で英語、スペイン語の医療を学びました。そして現在では地元の医療機関での活動を主としています。

岸和田市の在住外国人数は別表の通り全国平均、大阪府平均に比べても極端に少ない状態です。その原因として ①労働環境が悪い（企業が少ない）②住宅環境が悪い（UR 賃貸住宅の不足）③外国人行政サービスが悪い ④日常生活で外国語が通じない ⑤医療通訳がないので安心して受診できる環境ではない ⑥帰国・渡日児童生徒の支援体制が十分ではない などが考えられます。

昨年度の医療通訳の実績は 13 の医療機関で 91 件です。通訳以外でも入院や検査を受ける際の説明書、誓約書の英語版・スペイン語版の翻訳もその都度作成する必要があり、個人レベルでの処理能力限度を越えているそうです。

通訳者から見た外国人患者の問題点として ①各種医療健康



保険の不備（使えない、未加入）

②医療費が高額のため支払えない ③予約・再診日時の履行意識の欠如 ④筆記用具を携帯しない / メモを取る習慣がない ④十分な現金を持たない（通訳者に立て替え依存）など。原則として医療通訳者は本来の通訳業務以外にサポートすることは御法度とされています。従い通訳者が医療費を建て替える必要はありません。しかし塩屋さんの場合は医療通訳に特化しているのではなく、外国人サポートの一環として、医療通訳が含まれているだけです。診察時間の合間に日常生活の様々な相談を受けています。患者が医療費を支払えない場合、「次回診察時に支払う誓約書、その保証人になる」など面倒な手続きを考えれば、つい建て替え払いをしてしまうというジレンマがあるそうです。しかしこれは患者自身に「独立してもらおう」という観点からは好ましくないため、方針を変えていくそうです。

「日本語でも難しい医療用語をどうして英語とスペイン語で？」とよく質問されるそうです。しかし医療用語の殆んどはラテン語（スペイン語など）から由来していますので、そんなに苦労しないそうですが、「難解な病名は世界共通なので、しっかりと覚える必要がある」そのためには日頃からしっかりと学習しなければ医療通訳は務まらないというのが結論です。最後の「泉州弁とスペイン語の類似関連性」はとても愉快でした。（事業部会）

7

平成30年度岸和田市在住外国人			
	総人口	在住外国人	割合
全国	124,000,000	2,580,000	2.1%
大阪府	8,820,000	228,000	2.6%
岸和田市	195,000	2,200	1.1%

岸和田市在住外国人推移				
平成5年	平成15年	平成20年	平成25年	平成30年
2,330	2,030	2,040	1,800	* 2,200

*ブラジル人 41→91人 ベトナム人 58→290人 フィリピン人 109→116人

3/16
(土)

Christine McKeon さん
(オーストラリア)

当日の朝、予定していたゲストから、「インフルエンザにかかりとても行けそうにない」と連絡が入り、あちこち心当たりの人をあたって見つからず、とても困っていたところ午前中のカンガルークラブの特別プログラムが終わったUさんから、「Christineに頼んでみましょうか?」と返信がありました。突然のお願いで本当に申し訳なかったのですが、急遽カンガルークラブの指導者であるH先生とのコラボとなりました。

Christineさんはオーストラリアのクイーンズランド州トゥーンバ (Toowoomba) 在住の笑顔の素敵なお母さんで、知的で優しい女性です。オーストラリアの気候風土、珍しい動物、文化等について興味深いお話を聞くことが出来ました。オーストラリアは18世紀後半のイギリス、アイル



ランドからの入植に始まり、ヨーロッパからの移民、そしてアジアやアフリカから多くの異民族によって形成されている国ですが、ベトナム戦争の時はベトナムから多くの人を受け入れ、最近ではシリアや中近東からの移民が多いそうです。若干差別等の問題もあるがそれぞれの立場や違いを理解しながら一つにまとめた多民族文化の国であると話されました。また、Aussie Englishの特徴やwork life balanceをととても大切にしているというお話も印象に残りました。急なお願いにも快く引き受けて下さったChristineさん、H先生、Uさん、どうもありがとうございました。(中村 恵子)

4/20
(土)

Sue Tregenza Kiowaki さん
(オーストラリア)

今回、自分の英語力では敷居が高いと思って、ずっと二の足を踏んでいたEOCに、久しぶりに、参加させて頂きました。今月のゲストは帝塚山学院大学英語学講師のSue Tregenza Kiowaki さんでした。とても明るくフレンドリーな方で、ご自分が住まれた国、オーストラリア・ニュージーランド・ドイツ・日本とのCultural differencesについて、お持ち下さった画像とYouTube等の動画を用いて、和やかにお話をしてくださいました。

そのなかで印象深かったのは、オーストラリアでは初対面の挨拶時に、握手をするのですが、日本人の中には軽く手を差し伸べたら良いのに、ぎこちなく突き出す方がおられるので、ビックリする時もあると言われていました。スマートに挨拶ができるようにしたいですね。そしてニュー



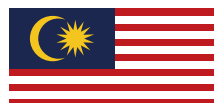
ジーランドのマオリの挨拶では、額と鼻を擦り合わせて交わす挨拶をするそうです。鼻の低い私には無理かも?と、お隣の方と苦笑してしまいました。(编者注: ホンギと呼ばれる挨拶で、普段の生活で使われることはなく式典や儀式に限定されるそうです。)

今回 Culture? What do you think? の投げかけから始まり、文化の違いを色々とお話して下さり、楽しい雰囲気の中で時間があっという間に過ぎてしまいました。私自身、全部理解する事ができなかったのが、とても残念でした。しかし、今回参加してとても良い刺激を受けました。貴重な体験をありがとうございました。(川崎 幸子)

5/18
(土)

Afeek Wan Ali さん
(マレーシア)

5月にはマレーシアの外交官Afeekさんをお迎えしました。昨年9月に来日され、関西国際センターでの8か月間の日本語研修をほぼ終え翌週には帰国という、帰国直前の慌ただしい時期に快くEOCに来てくださいました。お話の中心は「マレーシアの多様性」について。言語・宗教・祭・食べ物、等の観点からたくさんの写真と共に多様な文化が共存する自国を紹介してくださいました。国の宗教はイスラム教ですが、イスラム教のモスクのすぐそばにカトリック教会や仏教寺院が存在したりと、排他することなく上手く共存しています。首都のクアラルンプールとは別に約40km南方にプトラジャヤという首相官邸などの政府機関が集まる行政都市(行政新首都)が整備され、渋滞が緩和されているそうです。



プトラジャヤの写真を拝見しましたが、イスラム建築の建物がたち、自然も豊かな美しい街のようで、是非一度行ってみたいと思いました。Afeekさんはイスラム教徒で、丁度今はラマダンの時期。日中(日の出から日没まで)は飲食できません。赤道に近いマレーシアでは一年を通して昼夜の時間の長さにあまり変化はありませんが、ドイツ滞在中夏にラマダンを経験したときは昼の時間が長くて大変だったそうです。ラマダンが終わるときにはEid ul-Fitrというお祝いのお祭りがあり、イスラム教徒にとってラマダンは喜びであるそうです。

(荻野 昌美)

Youは何しに岸和田へ?

Why did you come to Kishiwada?

Louis Lammertyn さん
(ベルギー)



Q 日本へは何度目の訪問ですか?

A 最初の訪問は1985年で、以後100回、延べ700日、2年滞在しています。

Q 変わった逸話、経験、習慣、文化の違いは?

A ◇日本では年齢を1年多く表現します。私は62歳ですが、日本では63歳です。◇雨の日にお土産の買い物をすると、雨で濡れないようにビニール袋で包装し、いつもお客さんを気づかっています。◇ベルギーでは交通渋滞がひどく、車通勤に約2時間かかっています。代替手段の鉄道は全くあてになりません。その点日本の鉄道は素晴らしいシステムで時間が正確です。◇10年前日本に滞在中、足の指を骨折し、病院でショートソックスのように足首までのギブスをしてもらいそのまま旅行を続けました。ベルギーで再チェックしてもらった処、医師たちは笑いました。ベルギーではロングソックスのように膝までギブスをするからです。



Q 日本人がベルギーについてどんな印象を持っているか聞いたことがありますか?

A 殆んどの日本人は、チョコレート、ビールと Red Devils (サッカーチーム) が有名だと回答してくれました。またある人は世界で最も有名な Tomorrowland ダンスフェスティバルのことも知っていました。毎年7月に開催されますが、チケット入手が大変難しく、40万枚のチケットが数時間で完売するほどの人気です。

Q 日本への旅行はいつも奥様と一緒ですか?

A はい。彼女は日本の食べ物が大好きで、電車内、トイレ、公共の場所、街通りでは、清潔でゴミがないのにとっても感心しています。また近い将来、妻と一緒に日本を訪問することを楽しみにしています。(大塚 洋)

日本語サロン便り 福祉総合センターサロン編



昨年6月から南海岸和田駅近くの福祉総合センターに引越し。和室・調理室も使えるので、みんな「あれもこれもやろう」と意気揚々。当サロンは、テキストを使って日本語を学び合うと同時に日本や泉州の伝統行事・文化を体験しながら「日本」と「日本語」をもっと知ってほしいと、昨年度も『ひっこしお楽しみ会』『七夕まつり』『たこやきパーティ』『新年お茶会』そして3月には『ひなまつり』でひな人形を作りました。また7月には福祉総合センターで行われたコラボに参加し、『世界の国を知ろう』と題して国旗で国名と場所を知ってもらうブースを設置。その国のあいさつなども展示して大盛況!

サロンに親と一緒に来ている子ども達は、母語や宗教が違っていても覚えてたの日本語で仲良く折り紙をしたり、保育園や幼稚園での出来事を教えてください。自作の「ひな人形」を持ったこの写真の子ども達の笑顔が当サロンの楽しさを表しています。ただ、技能実習生達は残業などで毎週出席できないのが気の毒。「遅れても来てもいい?」「今日は楽しかった!また来週!」と笑顔で帰ってくれるのがボランティアたちの喜びです。来日の事情は違っても岸和田で住み働いているという共通の立場で、外国人達もボランティア達もつながりお互いに学び合っています。そして、そのつながりをより強くするために、通信『日本語サロン』を月1回発行しています。そこに入会後すぐ自分の文字で簡単な自己紹介を書き、一生の宝物にしています。(安武 実子)



地球家族

～「100」、「90」、「80」～

掲題数字は平和と人権の為に果敢に立ち上がり偉大なる成果を得て、ノーベル平和賞に輝いた黒人闘士3人の最新生誕記念年である。

(1) 100年 南アフリカ連邦マンデラ大統領
アパルトヘイトによる人種差別政策により白人と有色人種に分離される。土地の大半は白人が所有し黒人は狭い居留地やスラム街での暮らしを強制され、乗り物やレストラン等は区分された。アパルトヘイト廃止を訴え続けた彼は、国家反逆罪で終身刑に処され27年間の獄中生活を経て遂に制度廃止を勝ち取り、その後は大統領として差別撤廃に尽力した。



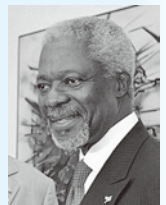
(2) 90年 アメリカ キング牧師

1963年リンカーンによる奴隷制度廃止後も南部を中心に差別意識や公的制度が残る。ボストン大学で博士号を得た彼は非暴力という最大の武器を行使し言論と行動により大衆市民非暴力を貫く。ワシントン大行進で20万人の前でI have a dreamの名演説を行う。公民権法を勝ち取るも1968年「私は頂上に達した」の名スピーチの後、凶弾に倒れる。



(3) 80年 ガーナ アナン国連事務総長

2001年以降、事務総長として2期務め国際社会に戦争犯罪や虐殺から市民を保護する責任がある事を訴えた。そして21世紀の国際社会の開発指針としてミレニアム開発目標策定を主導し、更に極度の貧困と飢餓の撲滅や人権保護の取り組みを強化した。



80億人の地球家族は人種、宗教、文化を異にしており世界に紛争の火種は尽きない。そこでは戦火に怯え人権を抑圧され瀕死の危機にある地球家族がいる。上記3人は自ら虐げられた立場にありながら戦い偉大なる足跡を残した。人は生まれながらに等しく平穏に暮らす権利がある。時には3人に思いを致し各地球家族は身を律したいものである。(奥野藤樹)



118号でも紹介しました通りクバ君は昨年8月に来日して以来、1年間ですっかり日本の生活、習慣にも慣れましたが間もなく帰国します。クバ君自身が書いた原稿をそのまま掲載します。



和泉高校留学生
Jakub Voves 君(チェコ)



PRECIOUS Memories

Ahoj! (アホーイ!チェコ語のこんにちは)

私の名前はヤクブ・ヴォヴェスです!ニックネームはクバ!チェコから来た留学生です。日本でもう8カ月住んでいます。そして7月にチェコに帰ります。

1年間留学に行くことは2年前はじめて考えた。その時私のお兄さんが1年間ウルグアイに行った、そして私の家族に1年間メキシコ人が来た。私もどこか行きたいと思った。たくさん友達も留学に行っただけみんながアメリカ、そしてヨーロッパの国へ行った。私はもっと面白い、遠い、そして綺麗な国に行きたいと思った。アジアに何回も家族と行って、もっとアジアのことを知りたかった。いつもアニメで日本語を聞いていて、そして日本の文化をインターネットで見て日本を選んだ。

日本ヒップファミリークラブのおかげで、2018年8月岸和田のY家にホームステイに来了。ホスト家族はお父さん、お母さん、そして中学生と高校生の弟がいます。

私の生活は最初とはとても変わった。毎日日本語がうまくなって、日本人の生活を経験して、そしてたくさん友達を作りました。岸和田の和泉高校に8月に入った、そしてすぐみんなの前で自己紹介をやった。チェコではいつもたくさんの人の

前でスピーチをするのが苦手だったのですごく緊張したけど日本で何回もやったのでうまくなった。

学校の授業はあまり分からないけどみんなと一緒に教室で頑張ります。国語と数学の時自分で漢字を勉強する。そして水曜日は学校で、金曜日は東岸和田サロ

ンで、毎週二回 ifa の日本語の授業を受けている。東岸和田日本語サロンにはたくさんの外国人がいるので、新しくたくさんの面白い人と出会った。

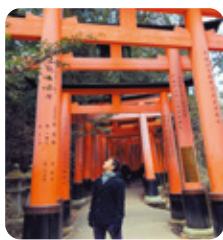
学校で1番楽しいのはイベント!文化祭、合唱コンクール、マラソン、そして体育祭はチェコの学校にない。日本に来てすぐ文化祭があった。そこでロミオとジュリエットのプレイをやった、そして文化祭のおかげでいっぱい友達を作った!

この一年間の自分のモットーがある!何でも出来る、そして全部経験したいというモットー。だから体育祭の応援も最初はちょっとやりたくなかったけど、自分のモットーを思い出してがんばった。そして5月8日みんなとダンスをする。

私の経験は学校のイベントだけじゃない。家族やヒップクラブ、自分にもたくさん経験を貰った。岸和田のだんじり祭り(走った!)、奈良、京都、和歌山、長野、そしてもちろん大阪。おもちをついた。大きなプレゼンテーションを350人の前でやった。甲子園に野球を見に行った。小学校と幼稚園で小さい子どもにチェコの事を教えた。そしてたくさん、たくさんの違う経験。

あと3カ月でチェコに帰るけど、この一年間を人生の終わるまで忘れない。この一年間でたくさん自分の事を見つけた。そして生まれてから今1番自分を良く感じる。チェコに帰ったら、あと1年高校に行く。そして大学生の時また日本に帰りたい!

(5月 クバ)



Information

■地球どんぶり「久米田池夏まつりにゆかたを着て参加しよう」

【と き】 8月3日(土) 18:00~21:00

【ところ】 八木地区公民館18:00集合

*詳しくはチラシをご覧ください

■外国人のためのだんじりインフォメーションセンター開設

～通訳スタッフ募集～

9月14日(土)、15日(日)に開催される岸和田だんじり祭に南海岸和田駅高架下にあります“シルバー人材センター”をお借りして開設します。通訳ボランティアを募集します。言語は問いません。必ず事前にお申込みください

【と き】 9月14日(土)、15日(日)

①9:45~13:00

②13:00~16:00

③9:45~16:00(③のみお弁当を提供します)

■Mixed Roots ボランティア募集

外国にルーツを持つ子どもの生活支援や学習サポートを行います。ボランティア及び該当者を募集します

【と き】 第2・4土曜日13:30~15:30

【ところ】 マドカホール 3F 視聴覚室

■English Open Café

各国のゲストを招きプレゼンいただき交流します
進行は全て英語で行います

【と き】 9月以外の第3土曜日13:30~15:30

【ところ】 マドカホール 3F 視聴覚室

*申込なしでどなたでも参加いただけます。

にゅとぴあ岸和田 No.120 編集担当

内田満弥・大塚 洋・塩屋 裕・西村紀子・三森すみ代

お問い合わせや感想などは事務局まで TEL&FAX (072)457-9694